

IJ-CAD

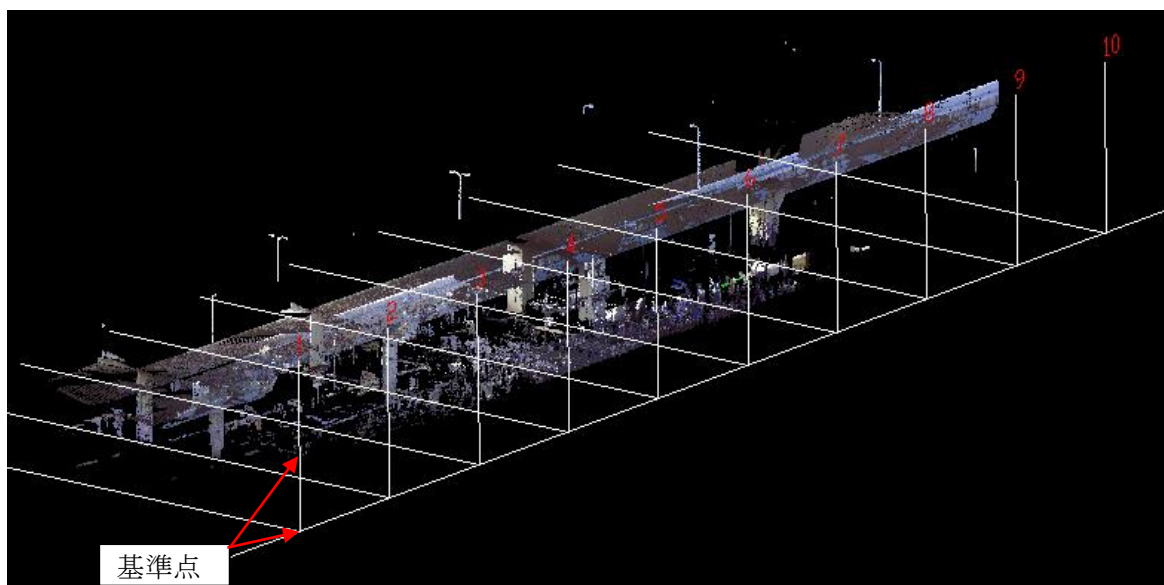
クリップ処理概要



2019 年 10 月

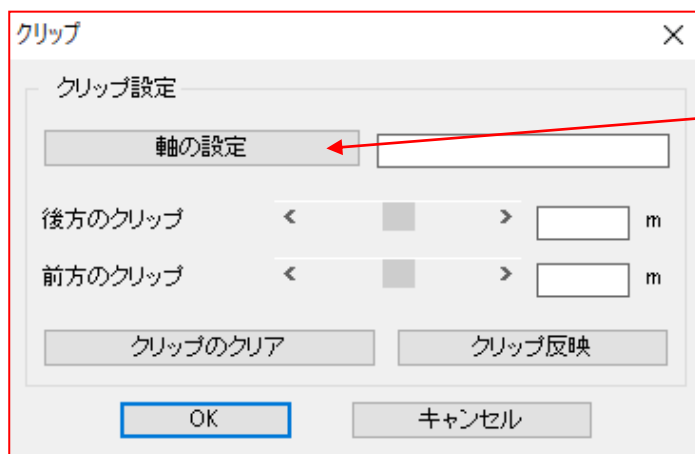
レジスト屋

本書は点群クリップ処理について概要を説明します。



上図のような構造物の形状を指定された位置でトレースする場合などに便利な表示点群を基準面から前後の指定間隔内のみを表示させる機能です。

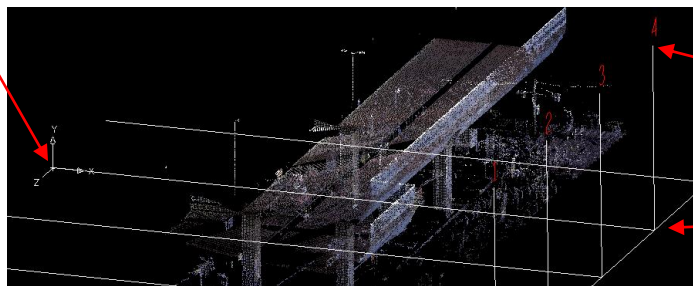
基準面の設定



軸の設定 ボタンをクリック

3 点で軸を指定します。最初は原点、次はX プラス方向、最後はY プラス方向

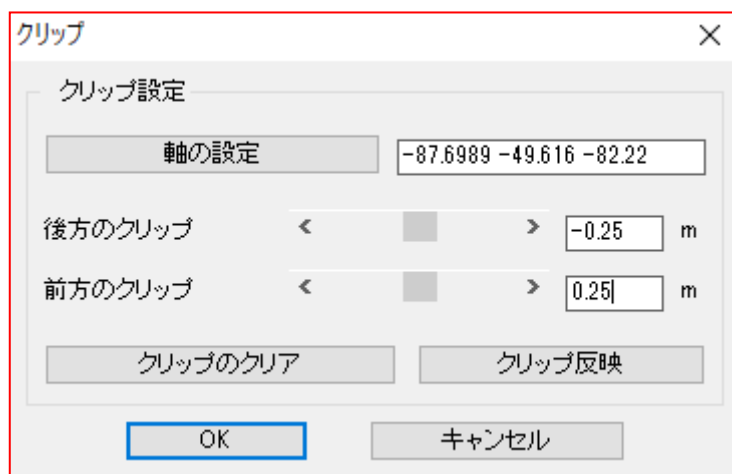
原点



Y プラス方向

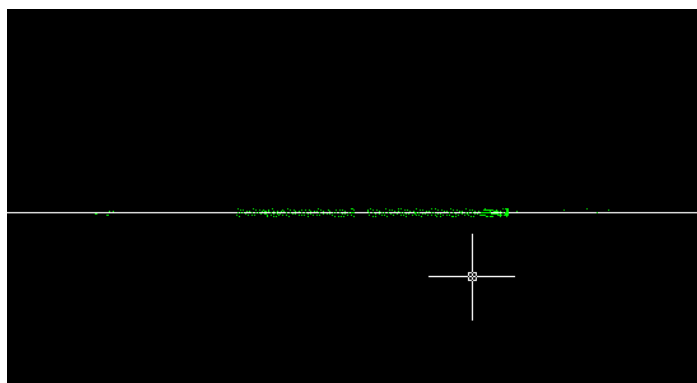
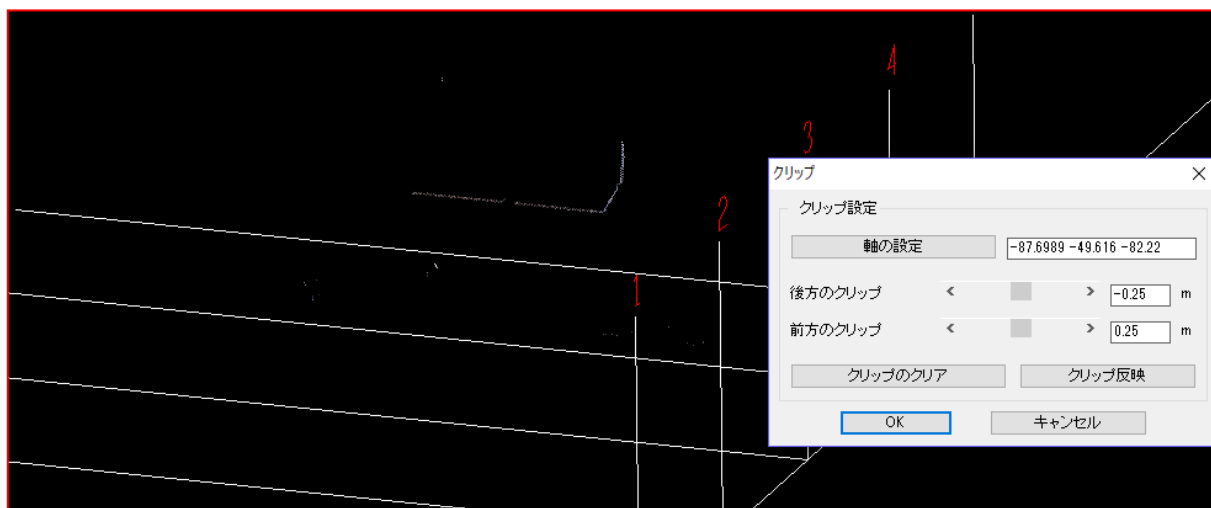
X プラス方向

設定した軸（面）から 後ろ(Z 軸マイナス側)と前（Z 軸プラス側）のクリップ量を設定します。 スライダーをクリックすると、1m ずつ増減し、特定の値は直に数字を入力します。



左記の例は前後とも 0.25m に
セット

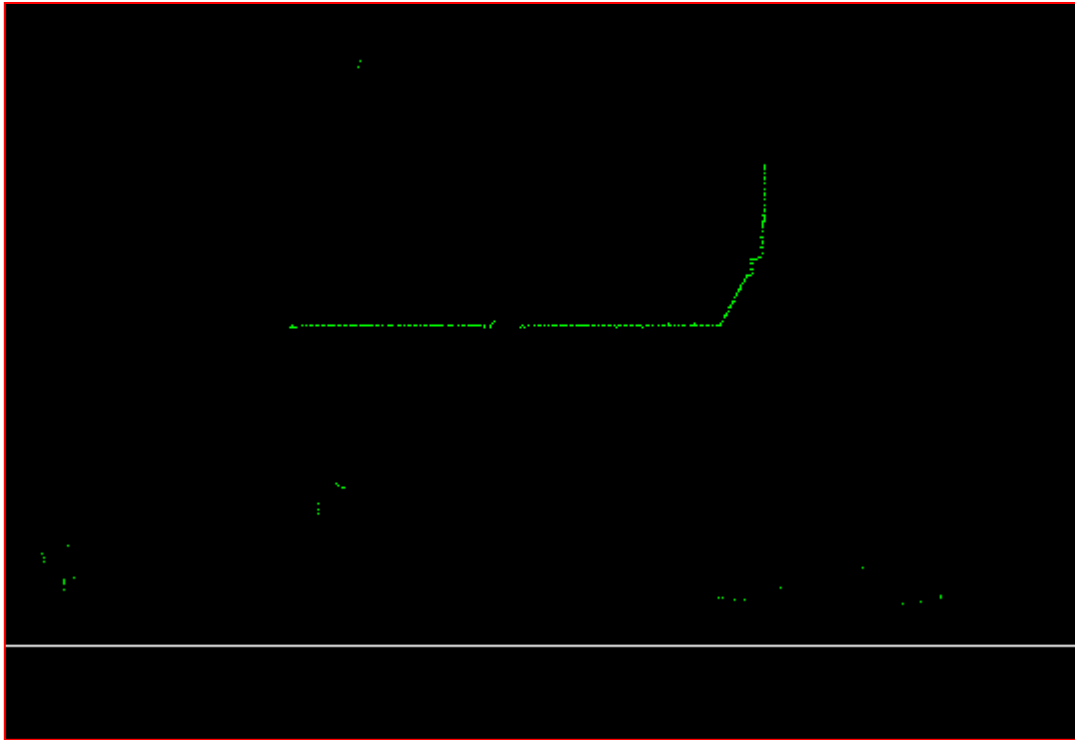
クリップ反映ボタンをクリックするとクリップを開始します。



平面表示

判りやすく緑色に着色して
います。

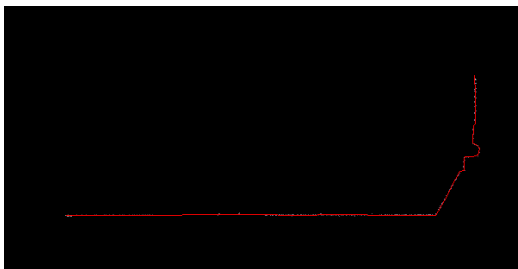
正面表示



これで余分な点群を表示せずトレースが可能となります。

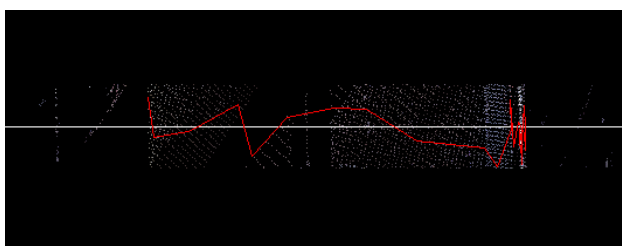
クリップを解除する場合はクリップ解除ボタンをクリックすることで、
全点表示モードに戻ります。

フラット化について



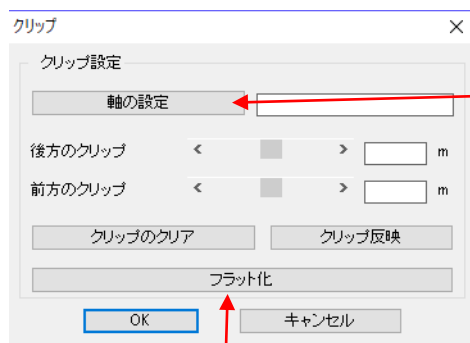
上記のように点群をクリックして
線を引くと正面では問題ありませんが、
奥行方向で下図のようになってしまいます。

平面表示



奥行方向にジグザグになる

クリップ設定画面を開きます。



1、軸を設定する。

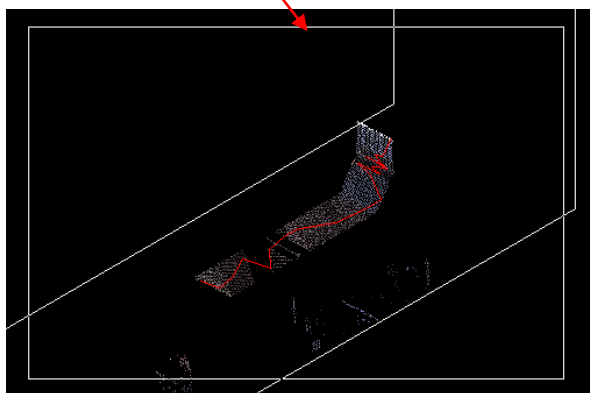
この軸に奥行を合わせます。

(既に軸を設定してある場合は不要です。)

2、フラット化ボタンをクリック。

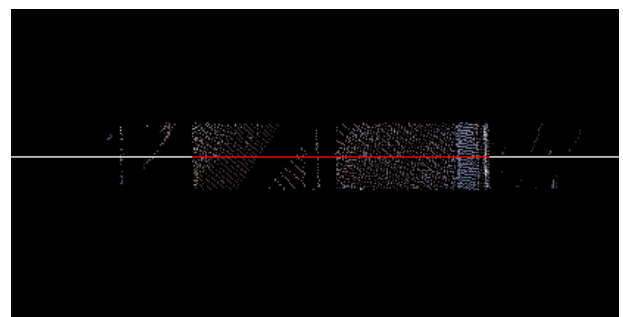
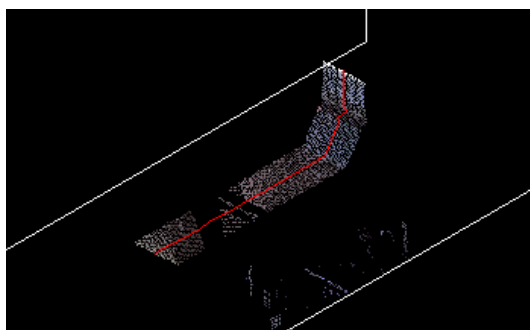
フラット化を行う線分の指定を行います。

フラット化を行う線分を BOX で囲みます。

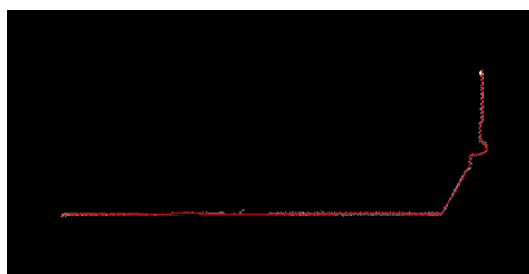


結果 アイソメ表示

平面表示



正面表示



この方法では数十センチ奥行幅の点群の中からでもきれいな線分透視図が作成できます。